



2014年(平成26年)8月27日発行 No.63

# 群私幼PTA連合会

発行人  
菅原 豪

事務局/〒371-0854 前橋市大渡町1-10-7 県公社総合ビル6階  
TEL.027-280-6206 FAX.027-280-6208  
群馬県私立幼稚園協会ホームページアドレス www.gunshiyou.jp



“マス”をつかまえたよー



## 平成26年度 総会開催

5月27日午前10時より、群馬県公社総合ビルホールにて平成26年度群馬県私立幼稚園PTA連合会通常総会が開催されました。

## もくじ

- あいさつ 群私幼P連会長  
群私幼協会副会長  
群私幼PTA連合会役員名簿
- 平成26年度事業計画  
総会後の研修報告
- 子育てセミナー／安中・我が家の子育て体験
- 私のおすすめ絵本・おすすめ遊び場
- おすすめハンドメイド・おすすめ簡単料理  
編集後記

# 「更なる飛躍を目指して！」

群馬県私立幼稚園PTA連合会

会長 菅原 豪



はじめまして。このたび平成26年度会長職を務めさせて頂くことになりました菅原

豪と申します。  
今回新たに役員となられました方々と一緒にこの1年間、力一杯がんばりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は創立50周年という大きな節目を迎え、今年はそれに続く様に更なる飛躍を目指すべく幼稚園と保護者が一体となり、主役である子ども達が明るく安心して伸び伸びと成長できる環境を整えていくのが私たちPTAの大きな使命と考えております。

とはいえ、突然このような大役を仰せつかったのは本当に光栄ではありますが、正直申し上げまして今現在の幼稚園教育を取り巻く環境やそれまでの背景も私にとって全くと言っていいほど無知に近い状態でした

ただただ右往左往するばかりです。

しかし今まで夫婦二人三脚で中学2年生を筆頭に、小学6年生、小学3年生、そして現在幼稚園でお世話になっております年長さんの4人を育てていく中で、同じ子どもを持つ親同士の繋がりや地域、幼稚園や学校と関わりあいながら本当に多くの方々のお力添えのおかげで子育てをとても楽しむ事が出来ております。

ですので、その恩返しと云っては少し大袈裟かも知れませんが非力ながらも会員の皆様へ少しでもお役に立てます様頑張りますので、これまで以上のご支援・ご協力をお願いを申しあげまして私からのご挨拶に代えさせて頂きます。

# ごあいさつ

## 「子ども・子育て新制度で何が変わる」

(一社)群馬県私立幼稚園協会

会長 原 徳明



平成27年度4月からの子ども・子育て支援新制度において、私立幼稚園は大きく3つに分類されます。①現行の私立幼稚園Ⅱ県の所管で学校法人立の幼稚園に対しては

経常費補助、学校法人以外には運営費補助がなされ、保護者には就園奨励費補助により保育料が減免されます。②市町村所管の私立幼稚園Ⅱ市町村所管に移ることができ、幼稚園そのものは何も変わりませんが、経常費補助や就園奨励費補助の代わりに「施設型給付」という新たな公費を受けることとなります。施設型給付は、利用者に給付するもので、実際には法定代理受領という仕組みで施設に給付されます。③認定こども園Ⅱ幼稚園型か新幼保連携型に移行することが出来ます。幼保連携型認定こども園について、単一の施設として認可・指導監督等を一本化することなどにより、現行認定こども園制度における二重行政の解消を行い、共通の給付を創設することにより、財政措置の充実が行われます。

幼稚園や③の認定こども園に子どもが満3歳以上で教育を希望する場合、保護者が入園を申し込むと、市町村から認定証が交付されることとなります。(園を通じて利用のための認定を申請) 契約・利用料の支払い先は園ですが、利用者の負担額は保護者の所得に応じて市町村が決定することになっています。(詳細は居住の市町村や内閣府のHP等を参照して、希望する幼稚園に直接お問い合わせください。)

これまでの幼稚園教育は、その研究の充実と共に発展し変化を遂げ、実践を振り返り検討する中で専門性を培ってきました。新制度は、教育内容についての創意工夫を妨げるものではありません。幼稚園が長年蓄積してきたノウハウを活かしていくことが重要だと考えられています。私ども私立幼稚園は、制度や時代の変化に対応しながら、多様化する幼児教育の基本を見据え、常に子ども達の立場から、幼児の最善の利益が実現されることを目指しています。

## 平成26年度 群馬県私立幼稚園 PTA連合会役員名簿

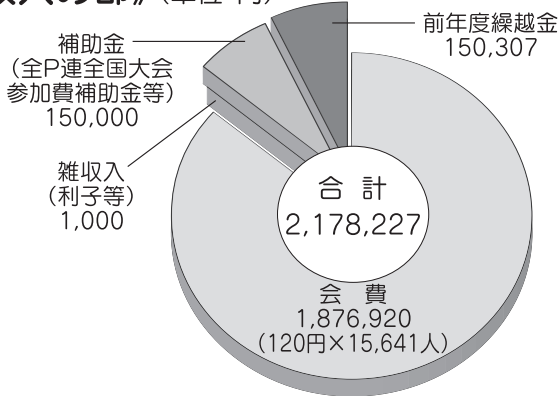
役職名	氏名	幼稚園名	所在地
会長	菅原 豪	第二ひかり	太田市
副会長	阿部 周子	いすみ	前橋市
副会長	関口美津子	大利根	前橋市
副会長	吉井 玲佳	長野	高崎市
会計	宮石 理恵	高崎健康福祉大学附属	高崎市
会計	大谷 剛	すぎの子	桐生市
書記	橋本依利子	富士見	前橋市
書記	土岐 輝美	国分寺	高崎市
理事	小野里浩子	共愛学園	前橋市
理事	伊藤 潤	静和第二	前橋市
理事	立川 瞳	木の実	前橋市
理事	阪本 仁美	ポケット	前橋市
理事	庭野 雅美	沼田	沼田市
理事	村松 大輔	ちぐさ	沼田市
理事	速水有里子	高崎商科大学	高崎市
理事	千本木美実	櫻丘	高崎市
理事	小平 佳織	藤岡	藤岡市
理事	前田 珠紀	のびのび	桐生市
理事	諏訪佐智子	田部井	伊勢崎
理事	柳 和佳	金山	太田市
監事	羽柴 千年	わかさ	前橋市
監事	長沼 功一	ぐんま	高崎市
顧問	清水 真人	長野	高崎市

よろしくお願ひします

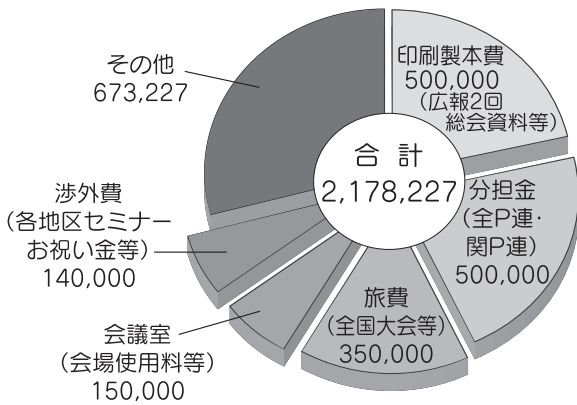
# 平成26年度事業計画

## 平成26年度 予算

### 《収入の部》(単位:円)



### 《支出の部》(単位:円)



1. 保護者負担の軽減をはかるために次の運動を展開する。
- ① 公立幼稚園・私立幼稚園及び幼稚園・保育園の保育料等の格差是正
- ② 県内すべての市町村で就園奨励費補助金の完全実施
- ③ すべての幼児を対象とする補助制度の確立
- ④ 幼児教育の無償化の実現
2. 私立幼稚園PTA全国組織に協力する。
3. 広報の充実をはかり、年2回発行する。
4. 会員相互の融和をはかるための事業と研修を行う。
5. 群馬県私立幼稚園協会との協力体制を強化し、各市町村における私立幼稚園関係団体との連携を密にする。特に子育てセミナー開催等を支援協力する。

### 総会後の研修

### シエル講演コンサート



5月27日総会終了後、「子育てライブをどうぞ」と題した研修会が行われました。講師はシエルというデュオユニット石川陽亮さん、浅沼杏花さんのお二人によるコンサートでした。冒頭から「情熱大陸」のヴァイオリンによるリズムの良い軽快な曲から始まりました。シエルは全国各地、保育園や幼稚園でも演奏しているそうです。特徴としてピアノとヴァイオリンをただ単に合奏するのではなく、パフォーマンスを加える事により、子ども達に楽器への興味を刺激

しているそうです。曲にアレンジを加え、鶏の鳴き声が出るオモチャやヘリウムガスを使い声色を変えるなど、そのパフォーマンスは大人の私達が見ても飽きないものでした。また、お二人はご夫婦との事で、息もぴったりでした。音楽と育児は昔から密接な関係があります。子どもを寝かしつけるには子守唄であったり、お手玉をしながらリズムよく歌を歌ったり、幼稚園では皆で歌うことにより集団生活の中での一体感が生まれます。人間は小さい頃からこういったリズムやテンポが身体に染み付いています。浅沼さんは1才からヴァイオリンを持ち、2才でオムツをはいたままステージに上がり、「きょうか」と音で自分の名前を弾いたそうです。聴くだけではなく、観ても非常に楽しくあつという間の1時間でした。最近我が家では幼稚園で習ってきた歌を恥ずかしそうに口ずさんでみたり、オモチャのピアノで曲を弾いている我が子に、日々の成長を感じました。

(静和第一幼稚園 伊藤 潤)

## 各地区子育てセミナー

### 安中地区

安中市私立幼稚園父母の会連合会  
会長 柴崎 三恵

## 特集 我が家の子育て体験

### 「心のスキンシップ」

立川

（前橋市）  
瞳

6月27日安中市総合体育館にて、319名の参加者のもと、第35回教育振興大会・お父さんとお母さんが元気になるセミナーが開催されました。教育振興大会では、保護者の代表が大会宣言読み上げ、私たちの要望を茂木英子市長をはじめ行政当局の方々にお伝えすることができました。セミナーでは、ピラティスインストラクターの工藤一枝さんを講師にお招きし『ピラティスで心も体もリラックス&リフレッシュ』と題して体験レッスンをして頂きました。「家事や育児で忙しい自身の大事な体を見つめてみましょう」「自分の体の声を聞きながら、無理なく楽しくやってみよう」という

工藤先生からのアドバイスもあり、心も体もリラックス・リフレッシュし、子育てのエネルギーをもらうことができたセミナーとなりました。



子どもと触れ合うスキンシップは、心と心が触れ合うスキンシップでもあるのかもしれない。

大きくなるにつれて人前でベタベタするのが照れくさくなっていった小学3年生の息子。逆に人前での発言などが増え、緊張や不安を感じる場面に出会う機会が多くなっているようでした。そんな場面で、息子は決まって股間を触っていることにふと、気がきました。息子に聞くと緊張や不安な気持ちの時に触っているのが気持ちよくなるのだと聞きました。今後は、大きくなるにつれてこのような行動に恥ずかしさが出てくるのでは？その時、息子はどこに「安心感」を求めるのだろうか？と親として心配になりました。

そこで主人と相談をし、ポケットなどに忍ばせることの出来る「心の拠り所」を持たせたらどうだろう…という事になりました。「離れていてもパパとママはいつでも自分の傍にいてくれる」と感じられるものがあれば息子は安心出来るのではないかと考えたからです。

そこで、お守りを持たせてみる事にしました。買ったお守りではなく、似顔絵と名前を刺繍した手作りのお守りです。中には息子の名前と家族写真を入れてみました。そのお守りをお尻のポケットに入れてみるように伝えると、緊張や不安を感じた時、息子はお守りの入ったポケットを握りしめるようになりました。息子に「落ち着いた？」と聞くと「すごく安心できた」と言ってくれました。



直接抱きしめる

ことは大切ですが、親の思いが伝われば、子どもは安心を感じられるのかもしれない。年齢によってスキンシップの方法はいろいろな形があってもいいのではないのかと感じられる出来事でした。

### 「食事のマナー」

長沼 巧一

（高崎市）

私の子育ての一番の重点は食事のマナーです。

箸やスプーンの持ち方、お茶碗の持ち方、食べ方。残さず食べる。余分なおしやべりはしない。くちやくちやと首をたてて噛まない。肘をつかない。手を椅子の後に回さない。姿勢良く食べる。こんなキーワードが飛び交っています。妻からは食事が「嫌なモノ」になるから言い過ぎるな。と釘を刺されることもしばしばです。

現在、小学二年生の長男は在園中にお友達の真似をして箸の持ち方を覚えてきました。また年中組の現役幼稚園生の長女は長男の真似をしながら覚えていく中で、

「そういう食べ方が出来ればおねえさんだね。」というふうにあなただが今正しく出来ているんだよ。認めているんだよ。という意味の言葉を使うと、もっとキチンと食べようといった意欲が出てきているように感じます。

また、園内の保護者の方に伺った事例を紹介いたします。

・親自身が食事中には携帯電話を使わないようにしています。子どもが成長して携帯をもった際、同じように食事中に使って欲しくないからです。

家族の会話がなくなったり、また他の友達や仲間と食事に行くと、食事中に目の前にいる人達を気にせず、携帯ばかりいじっているようになって欲しくないためです。

### 「私の元氣サプリメント」

関 美津子

（前橋市）

私には子育て中にイライラしたり、子どもに優しく接することができていないと思ったときの特効薬があります。

それは「子育てハッピーアドバイス」（作：明橋大二 出版：二万年堂）を読むことです。

通常よくみる育児書では、「〇〇しない」という表現が多いと思うのですが、この本は「子育ては大変だね。がんばっているね」と親の気持ちに寄り添い、励ましてもらった気分になります。

「親が肩の力を抜くと、親が楽になります。親が楽になると、子どもも楽になります。」「子どもが反抗するのは、ちゃんと育ててきた証拠で、喜ぶべきことです。」など、私は読むたびに号泣してしまいます。

子どもだけでなく、大人も誉められたり、認めてもらうことって大切なのですね。この本を読むと「またがんばろう」と元気になります。

ある時、子どもが幼稚園に行っているあいだに読んでいて、その後いつものように帰ってきた我が子が「ママ、なんで今日は優しいの？」と言ってくれました。効果は絶大です。

「最近、トゲトゲしているなあ」「子どもに優しく接していないなあ」と思っている方、おすすめです。

イラストやマンガが多用されているので、とても読みやすく、気楽に読めるのも気に入っています。

パパ向けのものや、10代のお子さんも読む親向けのものなど、いろいろなシリーズがあるので、ご自身にあったものを探してみてください。

# 私のおすすめ絵本

ちいさなあなたへ

## 「ちょっとだけ」

赤ちゃんが生まれて忙しくなったママを気遣い、自分のことは自分でやろうと頑張る姿がとてもかわいらしく、応援しなくてはなりません。

お姉ちゃんになって色んな事が「ちょっとだけ」でできるようになって自信もつてきた反面、寂しい気持ちも「ちょっとだけ」残っている様子が伝わってきます。

だっこをお願いした時に「ちょっとだけじゃなくていつぱいだっことしたいんですけどいいですか?」というママの言葉がとても温かい気持ちにさせられます。

(富士見幼稚園 橋本 依利子)



作：瀧村有子 絵：鈴木永子  
出版：福音館書店

## 「おたまじゃくしの101ちゃん」

子沢山の母さん蛙が、大奮闘するお話です。子育てというのは子どもが1人でも大変なのに、この母さん蛙には101匹きもの子どもがいます。母さん蛙はどの子にもきちんと声をかけ、気をつけてあげます。しかし、やっぱり101匹きものは多すぎ(笑)として、とうとう101ちゃんも迷子になってしまいました。母さん蛙が命がけでザリガニやたがめと戦うシーンは何度読んでもハラハラドキドキです。101ちゃん以外の兄弟たちももちろん力を合わせて困難に立ち向かっています。川の中の色々な生き物が描かれているので、ストーリーだけでなく、見所がたくさんある絵本になっています。

50年くらい前に書かれたお話ですが、子どもを命がけで守ろうとする親の強さや兄弟が力を合わせて困難に立ち向かう姿は今も昔も変わらず、心を打ちます。子どもだけでなく、大人も楽しめる1冊ですので、是非読んでみてください！

(ポケット幼稚園 阪本 仁美)



文・絵：かこ さとし  
出版：偕成社

# おすすめ遊び場

## ①おにし青少年野外活動センター

藤岡市(旧鬼石町)にあるアウトドアスポットで、カヌーやマウンテンバイク、クライミング等を楽しむことができます。

また、川遊びや芝生広場での芝も子ども達に人気です。

テントを張った本格的なキャンプはもちろんの事、場内には宿舎やバンガローが完備されており、必要な道具や食材のレンタル、販売もある為、初心者でも気軽にアウトドアを楽しむことができます。

キャンプ場から望む山々や神流湖の眺め、夜には満点の星、澄みわたる空気に川のせせらぎ等、体と心で自然を満喫できる最高の場所となっています。

こちらでは、夏だけでなく1年を通じて様々な活動を体験することができます。皆さんも是非、親子で大自然を味わいに出掛けてみてくださいませ。



(藤岡幼稚園 小平 佳織)

## ②上毛野はにわの里公園と国分寺跡

高崎にある史跡を2ヶ所紹介します。園内は広く、小さなお子様でも楽しめると思います。

### 上毛野はにわの里公園

園内には博物館や文学館、保渡田古墳群などがあります。八幡塚古墳には、はにわが復元されています。

二子山古墳にはコスモスが植えられていて、10月には満開になります。古墳の上から見下ろすコスモスの群生はともきれいです。これからの季節のお出かけに、ぜひおすすめします。



### 上野国分寺跡

築垣が復元されていて、ガイダンス施設もあります。現在も不定期に発掘作業が行われていますので、子どもの遊び場としては不向きな時もありますが、熱気球のイベントなどが行われます。イベント情報をチェックしてみてください。

(国分寺幼稚園 土岐 輝美)

# おすすめハンドメイド

## 「親子で簡単」

### 「プラバンキーホルダー」

#### ☆材料

- ① 工作用プラバン（透明・夜光板・白板）※百貨、文具店等で販売
- ② 油性ペン
- ③ ハサミ
- ④ パンチ
- ⑤ ストラップひも
- ⑥ オープントースター
- ⑦ アルミホイル
- ⑧ はし
- ⑨ 分厚い本
- ⑩ 下絵や写真等

#### ☆作り方

- ① プラバンに油性ペンで好きな絵や字を書く。10cm四方以内位。着色は裏からするとキレイ。
- ② ハサミで切る。線の周りを切るとキレイ。キーホルダー等の穴は〈先に〉パンチで開けておく。
- ③ オープントースターに入れる。アルミホイルをしわしわにして伸ばし、裏返

してその上に置く。

- ④ 加熱して縮める。反り返りながら約4分の1のサイズに落ち着く。500〜600Wで約80秒。中を見て縮みが止まったなと思ったらはしで取り出す。※熱くなります、十分注意して下さい。
- ⑤ 冷めないうちに平らな本の間に挟んでそりを直す。ヒモやゴムを着けて完成。

#### ☆アレンジ

夜光板で作って光るキーホルダーにしたり、名前のスペースを作りネームホルダーにしたり、ヘアアクセ、ペンダントトップ、イヤリングトップにもできます。とっても簡単。写し絵、写真、お子様が絵を描くなどして親子でハンドメイドを楽しんでください。



（高崎健康福祉大学附属幼稚園 宮石 理恵）

# 私のおすすめ簡単料理

## 「にんじんごはん」

#### ●材料（一合分）

- ・ お米……………一合
- ・ にんじん……………中サイズ半分
- ・ サラダ油……………少々
- ・ 砂糖……………大さじ1
- ・ しょうゆ……………大さじ1

#### ●作り方

- ① お米をといで炊きます。
  - ② にんじんを千切りにします。
  - ③ フライパンを熱し、油を入れ、にんじんを炒めます。
  - ④ にんじんがしんなりしたら、味付けをします。
  - ⑤ 炊き上がったご飯に混ぜて完成です！
- ☆栄養満点のにんじんをたくさん食べて元氣もりもり。
- ☆少し甘めの味付けごはん。園児に人気のメニューです。

（いずみ幼稚園 阿部 周子）



## 編集後記

今年の市街地での大雪はまだ記憶に新しいところですが。誰もが「経験した事のない大雪…」と口をそろえて言っていました。移動手段を奪われ、建物や農作物など甚大な被害を受けました。

息子が通う幼稚園から我が家はさほど離れていません。大雪が降ったあの日、自分も仕事をあきらめ家の周辺の雪かきをしていました。すると、車が走れない雪だらけの国道を、幼稚園の先生が徒歩で幼稚園へ向かっていきましました。挨拶すると、「これから園で雪かきです！」と元気に答えてくれました。足場の悪い雪の道、自宅から何十分かかったでしょう。そういった先生方の日々のプロ意識と努力のおかげで子どもたちの安全が守られているのだと、改めて思い知らされました。

自宅だけ雪かきをしていた自分がなんだか恥ずかしくなり、何か出来ることはないかと、自然と雪の中を歩いて幼稚園へ向かっていました。

（静和第一幼稚園 伊藤 潤）

